



本学図書館所蔵の資料が「2010年NHK大河ドラマ特別展 龍馬伝」に出展されました

本学図書館の所蔵する河田小龍（川田維鶴）撰『漂巽紀畧』（嘉永五〔1852〕年）が「2010年NHK大河ドラマ特別展 龍馬伝」に出展されました。これはNHK大河ドラマ「龍馬伝」の放送と連動して龍馬の遺品や幕末の歴史史料などを展示する特別展です。4月から11月まで4つの博物館で順次開催されるものですが、江戸東京博物館では既に4月27日（火）から6月6日（日）までの期間に開催されました。また、現在は京都文化博物館で7月19日まで開かれています。残る2つの博物館と開催期日は次の通りです。

高知県立歴史民俗資料館（7月31日～8月31日）

長崎歴史文化博物館（10月2日～11月3日）



写真は「京都文化博物館」からの提供。

後援会からの補助金で就職試験問題集と資格試験問題集を購入しました

本学図書館は、後援会より就職試験問題集と資格試験問題集の購入の補助金として毎年約150万円の図書購入費をいただいています。

今年度もこの補助金で最新の問題集を購入し、第2閲覧室に配架しています。また、図書館ではこの「就職試験問題集・資格試験問題集」のデータベースを作成し、ホームページで公開しています。学生の皆さんに就職試験や資格認定試験で、この資料から得られた知識を活かして

いただければ、後援会のご厚意にお応えできるものと思います。

オープンキャンパスで貴重書展「高校生が知っている世界の有名な書物展 2010」を開催しました

本学図書館は、6月20日（日）の本学のオープンキャンパス開催日に貴重書展「高校生が知っている世界の有名な書物展 2010」を行いました。この展示図書は本学図書館が所蔵している貴重書の中で、国際文化研究や国際関係研究、対外交渉史研究を中心に、高校生が知っていると思われる本や大学生の知識としてお薦めできる本を集めて出展したものです。このようなことから、これらの書物は見学した高校生にとって、教科書などで知った馴染みのあるものばかりで、初めて「出会った」本物の雰囲気を楽しんでいました。

今回は「世界平和のために」という新しいジャンルに、アンネ・フランクの書いた『隠れ家(アンネの日記)』のオランダ語初版本とヘンリー・デイヴィッド・ソロー著『ウォールデン 森の生活』の初版本が展示されました。日本では『アンネの日記』で知られている『隠れ家』という、ユダヤ系ドイツ人のアンネがアムステルダムの隠れ家で生活しナチスに捕らえられるまで書き綴った日記と、ガンディーやキング牧師に影響を与えたと言われている無抵抗主義の指導者ソローの『ウォールデン 森の生活』は、新たな関心の的になっていました。

なお、今年から図書館の学生アルバイトの皆さんがライブラリー・ツアーの引率・解説を実施していますが、年齢が近いこともあって親しみやすいせいか、高校生たちから質問が活発に出ていました。図書館や書物展以外に学生生活についての質問もありましたが、丁寧にそしてにこやかに笑顔で対応する学生アルバイトの皆さんがたの説明は好評でした。